

地域の中の福音寮について考える

社会福祉法人福音寮

古川 理恵、塩野 有沙、岡田 真未子

(地域 児童養護施設)

1. 目的

福音寮は戦争孤児の支援から始まった児童養護施設である。今年75周年を迎えた。本発表では、これまでの地域との交流を振り返ることで、これからの地域の中の在り方について地域の方々より意見をいただく機会としたい。



2. 実践内容

福音寮は「ほっとしたつながりで育ち合いましょう」の家庭的な養育を目指して、生活単位を小規模地域分散してグループホーム化し、それぞれのホームで完全調理を行なってきた。また、地域の学校に通い、それぞれのホームが地域の避難訓練、地域の行事、清掃活動等に参加し、地域の方と顔を合わせる機会となっている。地域の方々にもボランティアとして学習や手芸、工作、ピアノを教えていただいたり、絵本の読み聞かせや犬の散歩に同行させていただいている。また、フレンドホームとして地域のご家庭での家庭的体験や地域の日本大学文理学部で学生が勉強を教えてください日大さくらんぼ塾を利用させていただいている。

福音寮では、児童養護施設の地域分散化と並行して、子育て広場、後援会、保育園、学童クラブ、放課後居場所事業を展開し、地域との交流を重ねてきた。今回コロナ禍において、一時広場などを閉鎖する状況もあり、新たな交流の場としてSNSを開始している。



